

人生100年時代のフロンティア県へ

1. はじめに

香川県は、「世界の宝石」といわれる瀬戸内海や緑あふれる讃岐の山脈などの豊かな県土、温暖な気候、そして、四国の玄関口としての地理的優位性を活かして、発展してきました。

私は、先人が築き発展させてきた礎の下、他県にはない本県の持つ様々な財産を活かして、人口減少への対応、地域活力の向上に向け、地域の課題に正面から向き合い、自らが先頭に立ち政策の実践に取り組み、香川県を他をも牽引する地域としたいと考えています。そのために、あらゆる世代が、一人一人、その個性と能力を発揮し活躍し続けることができ、豊かで幸せな暮らしが送れるよう、「県民100万人計画」、「デジタル田園都市100計画」、「にぎわい100計画」の3つの柱を中心とする施策を推進し、「人生100年時代のフロンティア県」を目指してまいります。

2. 県民100万人計画～自然災害への備え～

第1の柱は、安全・安心で住みたくなる香川を目指す「県民100万人計画」です。県民の皆様の安全な暮らしを守るため、発生確率が高まる南海トラフ地震や近年多発する豪雨災害などに備え、公共施設の耐震化・老朽化対策や中小河川の浚渫・堤防強化などの整備を、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の予算等を活用して着実に進め、県土の強靱化を図ります。

公共施設の耐震化については、海岸・河川堤防等の地震・津波対策として、平成27年3月に「香

川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」を策定し、甚大な被害が想定されるなど、特に優先度の高い箇所においては、I期計画として平成27年度から令和6年度までの10年間で整備することとしています。

公共土木施設の老朽化対策については、施設ごとの長寿命化計画に沿って、着実に推進してまいります。

河川改修、砂防施設やダムの整備などの流域治水対策については、令和3年8月に策定した「香川県流域治水プロジェクト」に基づき、計画的に取り組みます。



写真－1 春日川河川改修

3. デジタル田園都市100計画 ～地域交通ネットワークの整備～

第2の柱は、経済発展に向けた活力に満ち挑戦できる香川を目指す「デジタル田園都市100計画」です。香川県の経済を発展させるため、交通や物流の活性化・円滑化を担う幹線道路や港湾の整備に着実に取り組む必要があると考えています。



香川県知事 **池田 豊人**

道路については、高松自動車道と高松空港を結ぶ空港連絡道路や臨海部の主要拠点をつなぐさぬき浜街道など県内の幹線道路ネットワークの整備を進めます。

港湾については、高松港の物流機能を強化するため、国際物流ターミナルや複合一貫輸送ターミナルの整備などに取り組みます。また、更なるにぎわい創出の取組として、大型クルーズ客船の受け入れが可能となる施設整備を進めます。

地理的な優位性から香川県が果たしてきた、四国の玄関口、あるいは物流・人流の要衝の地としての役割をこれからも発展させていくために、四国の港湾・空港機能の一層の強化、広域道路ネットワークの着実な整備を進めてまいります。



写真-2 さぬき浜街道の整備

4. にぎわい100計画 ～サンポート高松地区の整備～

第3の柱は、多くの人が行き交い、訪れたい香川を目指す「にぎわい100計画」です。

風光明媚な瀬戸内の海に面した都市空間である

サンポート高松地区において、本県スポーツの中核的な機能を有し、交流人口の拡大やにぎわいづくりの拠点として期待される、香川県立アリーナの整備を2025年の開設に向けて進めています。

また、時期を同じくして、J R高松駅ビル、徳島文理大学高松駅キャンパス、外資系最高級ホテルといった新しい施設が整備される予定です。

これらの新たな施設整備にあわせて、J R高松駅からウォーターフロントまで快適に歩ける一大プロムナード化に取り組み、地区全体でより一層のにぎわいの創出を図ってまいります。



写真-3 サンポート高松地区

5. おわりに

現在、国内外において課題が山積し、非常に難しい地域経営が求められている一方、香川県には発展できる潜在力がたくさんあると考えています。先に述べた3つの柱に沿った施策を推進し、新しい香川の発展に向け、全力を尽くしてまいります。